

# YAMAHA

ACTIVE SERVO PROCESSING SPEAKER

# AST-S10

---

## 取扱説明書

このたびは、YAMAHAアクティブ サーボ プロセッシング スピーカーAST-S10をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。


AST-S10は、ヤマハのオーディオ技術を駆使して開発された、全く新しいコンセプトのスピーカーです。


アクティブ サーボ プロセッシング アンプ (別売) との組み合わせにより、ワイドで緻密なサウンドを豊かな臨場感と共に再現できます。


AST-S10の性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。


なお、お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。


## ご使用上の注意


 本機は、必ずアクティブ サーボ プロセッシング カートリッジ対応のアクティブ サーボ プロセッシング アンプ(別売)に接続してご使用ください。


 ご使用の前に、付属カートリッジAST-KS10をアクティブ サーボ プロセッシング アンプのカートリッジホルダーに装着してください。


 キャビネットを美しく保つため、キャビネットに水気やアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤などをかけたり、ビニール系の敷物類をのせないようご注意ください。色がはげたり貼り付いたりします。なお、お手入れは必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。


 キャビネットの変色・変形を防ぐため、直射日光の当たる所や湿気の多い場所でのご使用は避けてください。


 設置場所は、転倒などの事故が発生しないしっかりと安定した場所を選んでください。音質的にも有利です。


 本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置すると、ハウリング(音の悪循環)を起こすことがあります。

 本機は防磁型設計となっていますが、万一テレビの近くでご使用になり色ムラが生じた時は、テレビと本機の距離を離してご使用ください。

 フロントグリル内側のスピーカーを押しつけたり、ショックを与えないようご注意ください。変形などしますと、音が歪んだり故障の原因になります。

 本機およびアンプの損傷を防止するため、接続の際は、必ずアンプの電源を切ってください。

 購入時に必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入が無いと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、有償となることがありますのでご注意ください。

 この取扱説明書は、保証書と共に大切に保管してください。



### 音楽を楽しむエチケット

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。  
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## 付属カートリッジについて

● 付属のカートリッジAST-KS10を、アクティブ サーボ プロセッシング アンプのカートリッジホルダーに挿入してください。

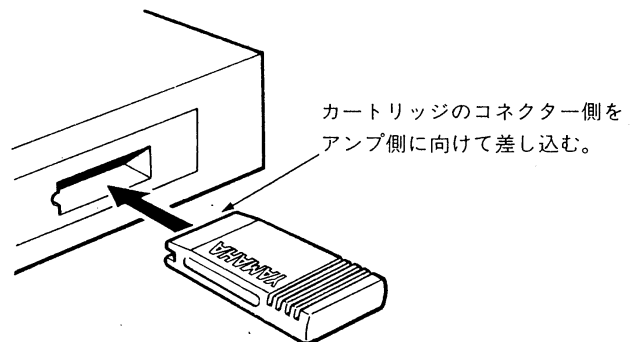
● 付属のカートリッジAST-KS10は、他のスピーカーと組み合わせて使用することはできません。  
他のスピーカーと組み合わせて使用した場合、アクティブ サーボ プロセッシング アンプおよび接続したスピーカーに損傷を与えることがあります。十分ご注意ください。

### ■カートリッジの装着

① アクティブ サーボ プロセッシング アンプのPOWER<sup>パワ</sup>スイッチを必ずOFF<sup>オフ</sup>にします。

② 付属のカートリッジAST-KS10を、アクティブ サーボ プロセッシング アンプのカートリッジホルダーにしっかりと挿入します。

※ 詳しくは、アクティブ サーボ プロセッシング アンプの取扱説明書をご覧ください。



### ご 注 意

● 付属のカートリッジには、精密部品が収められています。強い力を加えたり、落としたりしないでください。

● カートリッジのコネクター部を硬いものでこすったり、傷つけないでください。

● 保管場所にご注意ください。たとえば、特に温度が高い場所(40℃以上)、特に温度が低い場所(-5℃以下)、湿度が高い場所(90%以上)、ホコリの多い場所に置かないでください。

## アンプとの接続

- 本機は、アクティブ サーボ プロセッシング カートリッジ対応のアクティブ サーボ プロセッシング アンプ以外には接続しないでください。

一般のアンプに接続しても、スピーカーシステム本来の性能を発揮できないばかりでなく、故障の原因になります。

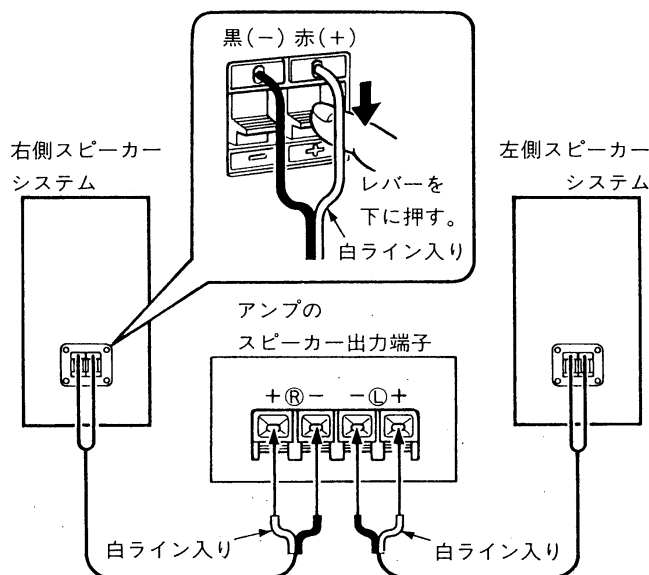
- 本機とアンプを接続する時は、必ずアンプの電源を切ってください。

### ■接続方法

- アンプのスピーカー出力端子と本機背面のスライド式入力端子を、付属のスピーカーコードで接続します。付属のスピーカーコードには、片方に白のラインが入っています。白のラインが入っている側をアンプと本機の赤端子(+側)間に、白のラインが入っていない側をアンプと本機の黒端子(-側)間に接続してください。
- 左チャンネル(向かって左側)のスピーカーはアンプの①端子に、右チャンネル(向かって右側)のスピーカーはアンプの②端子に、それぞれ極性(+、-)を確認しながら接続してください。極性を間違えると不自然な音になります。ご注意ください。

### ●接続手順

- ①図のように端子の下にあるレバーを下に押しします。
- ②スピーカーコードの芯線部分を穴に差し込みます。
- ③レバーから指を離すと、コードがロックされます。
- ④確実にスピーカーコードがロックされたか、コードを軽く引っ張って抜けないことを確認します。

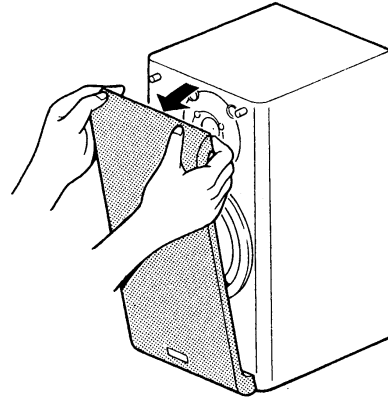


## フロントグリルの脱着

### ■フロントグリルの取り外し

フロントグリルは、本体に4ヶ所で取り付けられています。

下図のようにフロントグリル上部の両側を持って手前に引き、次に下側を手前に引くと外れます。



両側を持って手前に引き、次に下をはずします。

### ■フロントグリルの取り付け方

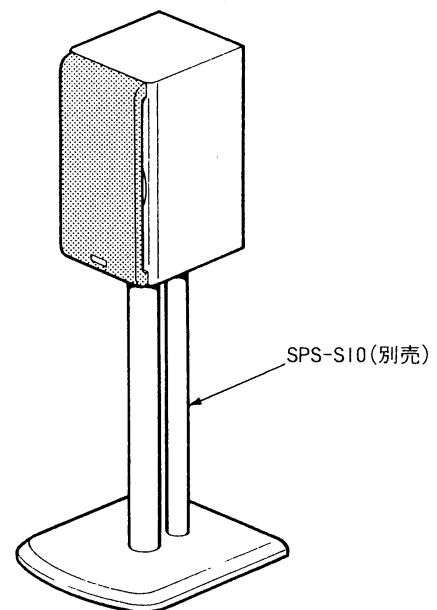
取り付ける時は、本体側4隅にあるホールドピン(突起物)と、フロントグリルのキャッチャー(ホールドピン受け部)の位置を合わせて、フロントグリルの4隅を軽く押さえてください。

## 別売スタンドのご紹介

### ■スタンドを取り付けて使用する場合

別売のスピーカースタンドSPS-S10を取り付けて使用することもできます。

(本機の底面に、SPS-S10を固定するための鬼目ナットが埋め込まれています。)



# 参考仕様

- タイプ……………2ウェイ アクティブサーボ プロセッシング タイプ、防磁型(EIAJ)
- スピーカーユニット
- ウーファー……………12cmポリプロピレンコーン(JA1228)
- ツイーター……………2.5cmソフトドーム(JA05P9)
- クロスオーバー周波数……………3kHz、12dB/oct.
- 最大音圧レベル……………110dB SPL/1kHz(AST-A10使用時)
- 再生周波数帯域……………40Hz～20kHz 30K
- 外形寸法(幅×高さ×奥行き)……………160mm×296mm×199mm
- キャビネット……………ウレタン塗装仕上げ
- 重量……………3.9kg
- 付属品……………アクティブ サーボ プロセッシング カートリッジ (AST-KS10)×1、スピーカーコード(4m)×2
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を未長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

●修理可能の範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

- 北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内  
TEL(011)513-5036
- 仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F  
TEL(022)236-0249
- 東京 〒211 川崎市中原区木月1184  
TEL(044)434-3100
- 新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F  
TEL(025)243-4321
- 松本 〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F  
TEL(0263)32-5930
- 浜松 〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内  
TEL(0534)65-6711
- 名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
- 京都 〒600 京都市下京区七条通問之町東入材木町483 第2マスイビル  
TEL(075)361-6470
- 大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内  
TEL(06)877-5262
- 神戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内  
TEL(078)321-1195
- 四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内  
TEL(0878)22-3045
- 広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39  
TEL(082)874-3787
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL(092)472-2134

■お客様相談窓口

- 北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内  
北海道営業所 TEL(011)512-6115
- 仙台 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F  
東北営業所 TEL(022)223-3101
- 東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F  
首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691  
首都圏第二営業所 TEL(03)255-2201  
神田営業所 TEL(03)255-6767
- 新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル  
北関東営業所 TEL(025)241-2084
- 神奈川 〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内  
神奈川営業所 TEL(044)434-4871
- 浜松 〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内  
浜松営業所 TEL(0534)71-1207
- 名古屋 〒464 名古屋市中区千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内  
中部営業所 TEL(052)782-7551
- 大阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内  
関西営業所 TEL(06)647-6411  
日本橋営業所 TEL(06)647-6411  
中央営業所 TEL(06)647-6411
- 広島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いざん広島ビル内  
中国営業所 TEL(082)244-3745
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
九州営業所 TEL(092)472-2131
- 本社 〒430 浜松市中沢町10-1  
AV機器事業部  
お客様相談センター TEL(0534)60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

国内営業部

TEL.(0534)60-3451

生産部品品質保証課

TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

VI36280-0 BWgW.W ©